

宮城県感染症発生動向調査情報(第48週)

宮城県【平成25年12月05日】発行

宮城県保健環境センター

TEL (022)257-7228

— 2013.11.25 ~ 12.1 ・ 第48週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所								仙 台 市				宮 城 県 (含む仙台市)			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第45週	第46週	第47週	第48週		
水痘	13 2.60	17 1.70	12 2.40		2 0.67	10 2.00	1 0.50	32 1.23	87 1.50	3,024	○ →	○ →	◎ →	◎		
流行性耳下腺炎		2 0.20			2 0.67	1 0.20	23 11.50	2 0.08	30 0.52	1,064	○ →	○ →	○ →	○		
百日咳											→	→	→			
感染性胃腸炎	16 3.20	44 4.40	23 4.60	17 8.50	48 16.00	19 3.80	7 3.50	184 7.08	358 6.17	13,946	◎ →	◎ →	◎ →	◎		
手足口病	8 1.60	14 1.40	3 0.60	2 1.00	1 0.33			24 0.92	52 0.90	4,562	◎ →	◎ →	◎ →	◎		
伝染性紅斑		1 0.10			2 0.67			19 0.73	22 0.38	693	○ →	○ →	○ →	レ		
突発性発しん		6 0.60	4 0.80	2 1.00	2 0.67	4 0.80	2 1.00	18 0.69	38 0.66	1,778	○ →	○ →	○ →	○		
ヘルパンギーナ		1 0.10						2 0.08	3 0.05	2,095	→	→	→			
インフルエンザ	1 0.13		1 0.13			7 0.88		24 0.57	33 0.35	15,736	→	→	→	○		
咽頭結膜熱		1 0.10	1 0.20					7 0.27	9 0.16	715	→	→	→			
流行性角結膜炎		4 1.33						1 0.17	5 0.42	153	→	→	→			
急性出血性結膜炎											→	→	→			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13 2.60	19 1.90	14 2.80	15 7.50	3 1.00	34 6.80		83 3.19	181 3.12	4,627	◎ →	◎ →	◎ →	◎		
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→			
無菌性髄膜炎											→	→	→			
マイコプラズマ肺炎	1 1.00	1 1.00	1 1.00	3 3.00		1 1.00	13 13.00	2 0.40	22 1.83	865	→	→	→			
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→			
RSウイルス感染症	6 1.20	12 1.20	2 0.40	1 0.50	1 0.33	5 1.00		30 1.15	57 0.98	1,111	○ →	○ →	◎ →	◎		
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	4	6	2	1	1	12	9	◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○: 発生または流行について、今後の情報に留意 レ: 発生が少なくなっている傾向							
	川崎病		1					3								
	不明発疹症															
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※															

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第46週)

(国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.02)、北海道(0.71)、岐阜県(0.49)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は8例と前週と比較して増加した。都道府県別では8つの県から各1例、年齢別では1~9歳(1例)、10代(2例)、30代(1例)、60代(1例)、80歳以上(3例)であった。**RSウイルス感染症:** 報告数は4,033例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約71%を占めている。**咽頭結膜熱:** 報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は宮崎県(1.64)、佐賀県(1.39)、広島県(1.37)である。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:** 報告数は増加した。都道府県別の上位3位は山形県(5.63)、新潟県(2.80)、北海道(2.76)である。**感染性胃腸炎:** 報告数は増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(17.00)、熊本県(10.72)、福岡県(10.21)である。**水痘:** の報告数は増加した。都道府県別の上位3位は三重県(2.27)、新潟県(1.95)、岩手県(1.90)である。**手足口病:** 報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(4.44)、佐賀県(3.00)、宮崎県(2.94)である。**百日咳:** 報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.15)、福井県(0.09)、福島県(0.07)、高知県(0.07)である。**ヘルパンギーナ:** 報告数は第31週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は香川県(0.33)、富山県(0.31)、秋田県(0.23)である。**マイコプラズマ肺炎:** 報告数は増加した。都道府県別の上位3位は栃木県(1.57)、岩手県(1.42)、青森県(1.33)、宮城県(1.33)である。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る):** 減少した。都道府県別では4つの県から各1例、年齢別では0歳(2例)、1~4歳(2例)であった。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所))の集計結果です。()内の数字は定点当たり報告数となります。

今週の全数報告疾病

1類感染症: 報告なし	※男児、女児は6歳未満	
2類感染症: 結核	石巻管内	男性1名
	塩釜管内	男性1名
	大崎管内	男性1名(第46週)、女性1名
	仙南管内	男性1名(第45週)、男性1名
	登米管内	男性1名
	仙台管内	女性1名(第47週)、男性1名、女性1名
3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)	大崎管内	男性1名
4類感染症: 報告なし		
5類感染症: 梅毒	塩釜管内	女性1名
	仙台管内	男性1名
	後天性免疫不全症候群	
	仙台管内	男性1名
	風しん	
	仙台管内	男性1名(第44週、検査診断例)

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

[流行性耳下腺炎]
気仙沼管内で警報継続中。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎集団発生事例より
栗原管内 第48週採取分 ノロウイルスGⅡ 4件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第46週採取分 (11.11~11.17)	第47週採取分 (11.18~11.24)	第48週採取分 (11.25~12.1)
RSウイルス	1件	2件	3件

【定点医療機関について】

表中各項目の下段にある「定点当り」とは、各保健所管内の患者発生数(表中上段)を、県が情報を求める各定点医療機関数で割った値を示し、感染症の動向の指標となる数値です。現在の定点医療機関数は下記となっています。

1. 週報報告

	宮城県	仙台市	県全体
内科定点	20	16	36
小児科定点	32	26	58
インフルエンザ定点	51	42	93
眼科定点	6	6	12
基幹定点	7	5	12

2. 月報報告

	宮城県	仙台市	県全体
性感染症定点	9	8	17
基幹定点	7	5	12